

令和4年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	令和4年12月28日（水）10時00分～10時30分
出席者	市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局DX担当局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局財務課長
議題	DXの推進
提案概要	<p>DX推進のため、下記の取り組みを実施する。</p> <p>①スマートシティ デジタル技術や新しい先端技術を使って、市民の暮らしを便利にし、市民の Well-Being を高めるスマートシティの取り組みを推進する。</p> <p>②EBPM 政策立案や政策評価等を行うに当たり、「現状に関するエビデンス」のほか、今回新たな取組として「政策効果に関するエビデンス」の収集と検討にも力を入れ、職員の研修と併せて調査業務委託事業を実施する。</p> <p>③DX 法律に基づき基幹系業務システムの標準化を進めるとともに、庁内におけるICTを活用した業務効率化に努め、「スマート区役所」をはじめとした限られた人員体制で市民サービスの維持・向上を実現する取組を進める。あわせて、高齢者等のデジタルリテラシー向上支援を進める。</p>
会議結果 (主な意見等を含む)	<p>全体的な方向性については了。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティのポータルサイト「スマートこうべ」について、利用者からの声を取り入れ、市民が利用しやすく、防災情報や子育て情報など関心のある新しい情報やサービスを見つけやすくできるようリニューアルを行う。 ・政策立案や政策評価等に学術研究を活用するアイデアは良い。調査結果をまとめたレポートの共有方法も検討する。 ・国の動向に合わせてシステム標準化を計画的に進める。 ・スマート区役所では、徹底した業務効率化・体制最適化や手続きの利便性向上、相談支援業務の充実を図る。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・庁内におけるICT活用の一つとして、ドローンを活用した業務改革に着手し、庁内の活用可能性を探る。・スマホ教室の開催規模を拡大するとともに、講師役として学生を起用することで、デジタルデバイドの解消だけでなく、学生と地域とのつながりを構築する。 |
|--|--|